

2024年度主要事業

1 主要地方道 宇都宮鹿沼線 飯岡東

- 鹿沼市 千渡～白桑田
- 全体計画/延長:810m
幅員:25m
事業費:約17億円

本路線は、鹿沼市中心部と宇都宮市中心部を結び、鹿沼市の東西軸を形成する重要な道路です。しかし、朝夕の通勤・通学時には交通量が多いため、現道は狭く歩道が整備されていないため、児童や生徒の安全な通学に支障を来しています。そこで平成26年度から優先整備区間として、北から1,200m区間の西側歩道の整備事業に着手しています。



2 一般県道 板荷玉田線 辺約

- 鹿沼市 辺約
- 全体計画/延長:900m
幅員:10.0m
事業費:約27億円

本箇所は東武日光線と急峻な山に挟まれ、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難であり、さらには土砂災害警戒区域(土石流、急傾斜)に指定されている地区です。狭路区間を迂回するトンネルを整備することにより安全な通行を確保し、利便性及び防災機能の向上を図ります。



3 一級河川 小藪川 楡木町

- 鹿沼市 楡木町
- 全体計画/延長:2.9km
事業費:約29億円

一級河川小藪川は、鹿沼市日吉町から鹿沼市街地西部を流下し、一級河川思川に合流する一級河川です。当該区間は、平成25年7月豪雨、平成27年関東・東北豪雨、令和元年東日本台風で浸水被害が発生したことから、河道掘削、護岸整備等により河川断面を広げる整備を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



4 一般国道293号 楡木バイパスII期

- 鹿沼市 下奈良部町～楡町
- 全体計画/延長:3,000m
幅員:22.0m
事業費:50億円

本路線は、茨城県日立市を起点とし、栃木県足利市を終点とする幹線道路であるとともに、緊急輸送道路にも指定されています。令和2年度に完成した楡木バイパスI期工区から鹿沼南バイパス間の整備をすることにより、地域間連携・交流の強化や鹿沼市街地内における渋滞の解消による交通の円滑化等が期待されています。



5 一般県道 鹿沼環状線 千渡北

- 鹿沼市 千渡
- 全体計画/延長:2,100m
幅員:25m
事業費:約13億円

本路線は、鹿沼市における外環状を形成する重要な道路です。しかし本工区は、交通量が多いにもかかわらず、現道が狭く歩道が整備されていないため、児童や生徒の安全な通学に支障を来しています。そこで平成26年度から優先整備区間として、北から1,200m区間の西側歩道の整備事業に着手しています。



6 一級河川 思川 深程

- 鹿沼市 亀和田町～久野
- 全体計画/延長:6,000m
事業費:約40億円
- 事業期間:平成26年度～令和15年度
- 事業内容:築堤・護岸、河道掘削等

一級河川思川は、その源を足尾山地の地蔵岳に発し、栃木県の中央部を南東に流下し、渡良瀬遊水地に流入する一級河川です。当該区間は、令和元年東日本台風等に伴う記録的な豪雨出水により甚大な被害が発生したことから、築堤及び河道掘削等を実施することにより、早期に地域の安全性の向上を図ります。



7 一般国道121号 天神町

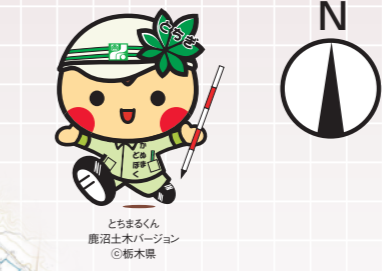
- 鹿沼市 天神町
- 全体計画/延長:360m
幅員:15m
事業費:約15億円

本箇所は、鹿沼市街地中心部に位置し、交通量が多いにもかかわらず、右折レーンが整備されていないため、慢性的に渋滞を引き起こしています。このため交差点を改良し、さらに電線類を地中化するなどにより、交通渋滞を解消し、中心市街地としての魅力ある道路空間の創出を図ります。



鹿沼土木事務所管内図

KANUMA CIVIL ENGINEERING OFFICE INFORMATION GUIDE



2023年度主な成果

14 都市計画道路3-4-202号 古筆原宮通り 千渡東 (主要地方道 宇都宮鹿沼線)

- 鹿沼市 千渡
- 全体計画/延長:1,085m
幅員:25m
事業費:約39億円

本路線は、鹿沼市と宇都宮市の中心部を直結し、地域間の物流や通勤・通学の日常生活を支えるとともに、第三次緊急輸送道路として指定され、災害時の避難救護、応急活動のための重要な役割を担っている路線です。しかしながら、現道は狭く慢性的な渋滞を引き起こしている状態でした。そこで、平成25年度からバイパス事業を進め、令和5年度に完成4車線での供用を開始しました。



15 一級河川 荒井川 堤防強化

- 鹿沼市 下久我小奈良橋上
- 全体計画/延長:240m
事業費:約1億円

本河川は令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う記録的な豪雨出水により溢水や護岸崩壊などの被害が多発しました。小奈良橋上流右岸については被害をまめがれましたが、今後洪水被害等が発生する恐れがあるため築堤・護岸による堤防強化を図り、令和5年度に事業が完了しました。



16 宮入A【急傾斜地崩壊対策事業】

- 鹿沼市 深程
- 全体計画/延長:240m
事業費:約2.5億円

本箇所は、鹿沼市南部に位置するがけ高平均28m、斜面の平均角度37度の急傾斜地です。指定避難場所である深程中央公民館のほか人家11戸が含まれることから、崩壊対策を行うことが急務となっていました。そこで令和元年度から交付金事業を導入し、令和5年度までに一部区間を除いた崩壊対策が完了しました。



17 追地口橋【橋梁補修】

- 鹿沼市 入栗野
- 全体計画/橋長:6.9m
池底面積:約4,700㎡
事業費:約5,000万円

本箇所は、鹿沼市入栗野地内に位置する一般県道草久栗野線の橋梁です。令和元年度に行った橋梁定期点検において床板・主構部に損傷があることが判明しました。そこで国庫補助事業を導入し令和6年1月に補修工事が完了しました。



9 一般国道293号 仁神堂

- 鹿沼市 仁神堂
- 全体計画/延長:750m
幅員:16m
事業費:約20億円

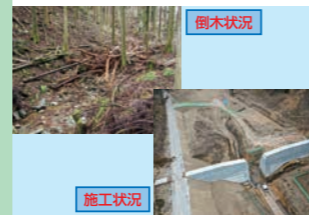
本工区は周辺学校の通学路で、歩行者・自転車が多いにもかかわらず、通行空間が不十分のため、児童や生徒が危険にさらされています。また、一級河川武子川仁神堂橋付近においては、平成27年関東東北豪雨及び令和元年東日本台風の際に、氾濫したこともあり、早期改善が求められています。このため、歩行者・自転車の通行空間を拡大し、児童や生徒の安全・安心を確保するとともに、河川の計画流量を確保した橋梁架替を実施し、災害の再発を防止します。



10 砂防事業 島田沢

- 鹿沼市 上永野
- 全体計画/砂防堰堤工:1基
渓流保全工:75.6m
事業費:約4.1億円

本箇所は、流域面積1.30km²の土石流危険渓流です。被害想定区域には一般県道上永野下永野線や人家14戸があります。そこで、土砂災害から下流域における集落等を保全するため、平成30年度から砂防事業を実施しています。令和5年度までに、堰堤が水通し施を除去完了しています。



11 砂防事業 思川

- 鹿沼市 上粕尾
- 全体計画/床固工:3基
砂防堰堤工:6基
帯工:2基
事業費:約16億円

本箇所は、平成23年度の台風15号に伴う豪雨出水により、沿道の鹿沼足尾線が被災し、孤立集落が発生するなど甚大な被害を受けました。そこで、土砂災害から下流域における集落等を保全するため、平成25年度から砂防事業を実施しています。現在は、床固工2基が完成しています。



12 主要地方道 宇都宮楡木線 上石川

- 鹿沼市 上石川
- 全体計画/延長:1.4km
幅員:11.1m
総事業費:約9億円

本路線は宇都宮市と鹿沼市を連絡する幹線道路であり、沿道には鹿沼IC、鹿沼工業団地等があり、生活及び工業を支える重要な道路となっています。しかしながら、本区間については朝夕の通勤や帰宅時の通過交通及び沿道施設へのアクセスから車が集中し、渋滞が発生している状況であるため、道路拡幅ならびに右折車線の設置を計画しています。



13 一級河川 西武子川 下武子町

- 鹿沼市 下武子町
- 総事業費/約1.6億円
池底面積:約4,700㎡

一級河川西武子川は、鹿沼市下武子町から市街地を流下し、一級河川黒川に合流する河川です。当該区間では、平成27年9月の関東東北豪雨による越水等により周辺地域に浸水等の被害があったことから、同程度の出水に対応するため調節池を整備しています。

